



## 2026年度(令和8年度)を迎えて

### 四街道中学校地区社会福祉協議会 会長 調知博

新年度を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

日頃より当地区社協の活動に深いご理解とご協力・ご参加を賜り、また、広報紙や SNS をご愛読いただき御礼申し上げます。

早いもので、今期2年が過ぎようとしています。この間、他地区社協や構成団体の皆様との情報交換を通して生活課題の解決に向けた取り組みを進めてきました。その中で、ひとり暮らしの高齢者が救急隊を呼ぶ事態になったとき、持病や投薬情報を記載した「緊急連絡カード」を作成し、民生委員の方々を通して必要な方に配付することが出来ました。このことにより、救急隊到着時に

迅速な対応ができ、最悪の事態を回避する可能性が高まるようになりました。

さらに、当地区社協活動を一人でも多くの地域住民の方々にご理解していただけるよう、広報紙「ほのぼの」や Facebook などの SNS により活動状況をこまめに発信してきました。フォロワー数も増えてきましたが、まだ道半ばです。

来期はさらにこれらの活動に力を入れるとともに、地域住民の方々抱えている生活課題の解決に向けて関係団体の皆様と連携しながら取り組んでいきたいと考えていますので、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

## 満員御礼ふれあい落語交流会



ホールが満員になったふれあい落語交流会 (左)



熱演中の桂文雀さん (右)

3月1日(日)わろうべの里多目的ホールにて、『ふれあい落語交流会』を開催しました。四街道出身の真打・三代目桂文雀さんをお迎えする、毎年大人気のイベントです。今回は『ぞろぞろ』『真田小僧』『身代り』の三作を披露していただきました。

『ぞろぞろ』は小学校の国語の教科書に載っていたことがあるので、お子さんお孫さんの音読を聞いたことがある方もいるのではないのでしょうか。

擬音の繰り返しが楽しい噺です。『真田小僧』は、口達者で機転の利く子供に翻弄される父親の姿が滑稽ですが、長々とした講談の一節を朗々と、しかも2回も繰り返す所が見せ場になっています。後半の『身代わり』は面白さだけでなく、情に訴える切なさがあり、つい涙ぐんでしまうような噺でした。

皆さん熱心に聞き入り、大いに笑い、楽しい時間となりました。(記/地域交流部会 中川)

## ご寄付ありがとうございました(1月~3月迄)

四中地区社協の活動をご支援くださりありがとうございます。  
地域福祉活動に活用させていただきます。

四街道ふじわら小児科医院(子ども食堂へ)	15,000円
募金箱	13,123円
合計	28,123円



\*寄付は所得税控除の対象になります。詳しくは四中地区社協事務局まで  
お問い合わせください。電話 070-1537-5827

## 広報紙作成スタッフ大募集!

当広報紙「ほのぼの」の作成スタッフを募集しています。文章を書くことが好きな方、写真を撮ることが好きな方、SNSを活用している方、地区社協の活動状況や魅力をあなたの手で発信しませんか?

活動内容 年4回の広報紙の発行に合わせ、毎号3回程度の企画・編集会議  
任意でイベントの取材

活動場所 主に南部総合福祉センター「わろうべの里」

お問い合わせ  
四中地区社協 [月・水・金 午後] (高橋) 070-1537-5827  
四街道市社協 (二村) 043-422-2945  
メール 4chiku@yotsukaido-shakyo.or.jp

## 四中地区社協の事業予定(4月~7月)



事業名	月日	場所
四中地区社協総会	5月30日(土)	わろうべの里
友愛訪問	5月中旬~下旬	民生・児童委員が対象者宅訪問
ファミリーコンサート	6月7日(日)	わろうべの里
福祉講座(健康体操)	7月5日(日)	わろうべの里
夏休み ほのぼの学習広場	7月29日(水)~ 31日(金)	わろうべの里

上記の他、ほのぼのサロンは毎月第2・4水曜日、ふれ愛サロンは毎月第2・4金曜日、いちごサロンは毎月第4木曜日、ほのぼのテーブルは毎月第2・4土曜日に開催しています。ほのぼの学習広場は、ほのぼのテーブル終了後に開催します。

**編集後記** 春の訪れとともに、地域の皆さまの笑顔にたくさん出会える季節となりました。今号でも四中地区社協で開催している、地域の子もたちとの交流や、福祉イベントの様子をご紹介します。

取材を通して感じたのは、「人と人とのつながり」が地域を元気にしているということ。世代をこえて一緒に過ごす時間は、心がぽかぽか温まりますよね。私たちは地域のつながりを深める活動を大切にしています。これからも、皆さまと一緒に、あたたかくて住みよい地域づくりを目指していきたいと思ひます。

(記/西塚)

# こんにちは！ 民生委員・児童委員です③⑩

【民生委員の有志で地区社協の高齢者サロンをお手伝いしています】

四中地区社協は、二つの高齢者サロンを主催しています。

1つは「ほのぼのサロン」で毎月第2・4水曜日にわろうべの里わろうびんぐホールで実施、2つ目は「ふれ愛サロン」で毎月第2・4金曜日に美しが丘自治会館で実施しています。

期間は毎年4月～2月。(7月後半、8月いっぱい、及び12月後半はお休みです)

内容はレクリエーションと会食で、参加者とスタッフは毎回300円の会食費を支払い、親睦を深めています

民生委員はスタッフボランティアとして、会場設置と空調などの点検、受付、会費の集金、イベントの進行などをお手伝いしています。また、自分の管理する地区の参加者の方の出欠確認などのサポートも行っています。

(記/志津)



ほのぼのサロン  
(わろうべの里)で  
ポッチャ大会参加の  
皆さん



ふれ愛サロン(美しが丘  
自治会館)で四街道警察署  
の防犯講話に参加の皆さん



四中地区社協  
フェイスブック

## 民生委員・児童委員通信8

志津美佳子 ☺

地区社協主催の高齢者サロン  
「ふれ愛サロン」でスタッフとして  
お手伝いしています。



軽い体操と歌の後、  
皆でお弁当を食べ談話。



メインの催しは脳トレクイズ、  
演奏会、体操教室など、  
毎回違います。



催しの一つ、ポッチャ大会は、  
かなり盛り上げります。



# 和良比小学校昔遊び学習支援を行いました

令和 8 年 2 月 10 日（火）和良比小学校 1 年生約 130 人が体育館に集まり、昔遊び学習が開催されました。

種目は 8 種類（こま回し・めんこ・けん玉・羽根つき・あやとり・おはじき・お手玉・かるた）で、児童たちはその中から 3 種類を選び、昔遊びに挑戦しました。

昔遊び学習支援には、地域のシニア倶楽部などの有志 18 名がボランティアとして参加し、そのうち 7 名の方が、四街道中学校地区社会福祉協議会から参加し、種目ごとに「〇〇名人」と呼ばれ支援に参加しました。

児童たちは、最初は日頃体験したことな

い遊びにやや戸惑いながらも、一生懸命チャレンジして、1 種目 20 分が終了する頃にはかなり上達していました。

昔遊び終了後は、参加した 1 年生が、支援に参加したボランティアの方々に元気な声でお礼を述べ、ボランティアとして参加した、やや高齢の方々も、児童たちから元気をもらいました。

小学校昔遊び学習支援は、和良比小学校だけでなく、中央小学校の昔遊び学習も支援しており、今年は 1 月 13 日（火）に開催されて、四街道中学校地区社会福祉協議会から 4 名が支援しました。（記／高齢者部会 堤）



ボランティアさんと参加の児童たち



ボランティアさんと一緒にかるたで遊ぶ児童たち



ボランティアさんの指導でお手玉を使って遊ぶ児童たち

# みんなの料理教室開催しました

2 月 4 日（水）わろうべの里に於いて、今年で 4 回目となる「みんなの料理教室」を開催しました。

20 名の参加者が「うぐいす餅（うぐいすのかわいい形をしたぎゅうひの和菓子）」を作りました。講師をしていただいた山岸さんの指導のもと、作り方の説明を聞きながら各テーブルに分かれて、手順に従い作っていただきました。

山岸さんの娘さんにもいろいろとサポートしていただきましたので、皆さん助かりました。出来上がったうぐいす餅を食べながら用意した抹茶を飲み、歓談して楽しいひと時を過ごすことができました。

（記／川島）



上；ウグイスのイラスト

左：出来上がったうぐいす餅

## 【うぐいす餅の由来】

豊臣秀吉の弟である豊臣秀長が催した茶会で、秀吉に献上された餅菓子を秀吉が気に入り、その見た目がウグイスに似ていることから「うぐいす餅」と名付けたという説が有力です。